

61 かわいい子には旅をさせよ

甘やかして育てるよりも、世の中でつらくて苦しい体験をさせたほうが、愛する子どものためになるということ。

62 聞いて極楽見て地獄

人から話に聞いたものを実際に見てみると、聞いていたことと大きく違っていること。

63 聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥

知らないことを聞くことは、その時に恥をかくだけだが、知らないままだと一生恥ずかしい思いをすることになる。

64 雉も鳴かずば撃たれまい

鳴いたがために撃たれた雉のように、必要のないことをした結果、災難を招いてしまうこと。

65 九死に一生を得る

まず助からないだろうという危険な状態から何とか助かること。

66 清水の舞台から飛び降りる

うまくいくかはわからないことでも、思い切って決断を下すことのたとえ。

67 木を見て森を見ず

物事の些細な事ばかり注意していると全体を見失うということ。

68 腐っても鯛

価値あるものは多少条件が悪くなってもそれなりの価値はある。

69 口は災いの元

自ら話したことが災いを招くこともあるので、余計な発言は慎んだ方がよい。

70 苦しい時の神頼み

信じていない神様や、あまり付き合ひのない人などに、困った時だけ頼ろうとすること。

71 君子危うきに近寄らず

立派な人は、常に慎重に行動して、軽はずみなことはしないものなので、危険なことには初めから近寄らない。

72 芸は身を助ける

身につけた技能はいざと言うときに役立つことがある。

73 犬猿の仲

犬と猿のように、二者の仲がとても悪いことのたとえ。

74 喧嘩両成敗

喧嘩をしたものは、どちらが悪いに関係なく、どちらも同じように罰を与えるべきだということ。

75 光陰矢のごとし

月日がたつのがとても速いことのとえ。また、時間を無駄にしてはいけないという戒め。

76 後悔先に立たず

すでにしてしまった失敗を後で後悔しても取り返しがつかない。だから後悔しないように注意しなさい。

77 孝行のしたい時分に親は無し

親のありがたみが解る頃には、すでに亡くなっているものだ。だから、親が元気なうちに孝行したほうが良い。

78 郷に入つては郷に従え

うまく世渡りするためには、その土地ごとの習慣に合わせて生活するのがよいということ。

79 弘法にも筆の誤り

どんなに優れた人物でも、失敗することはあるというたとえ。

80 弘法筆を選ばず

優れた名人・達人は、道具のよしあしに関係なく立派な仕事をやるものだということ。